

## 大学院生シンポジウム GS03

### 次世代若手研究者の挑戦！～難治性疾患に対する新たな創薬ストラテジー～

## The Challenge of Next-Generation Young Pharmacologists~The Strategy of Drug Discovery and Evolution for Intractable Disease~

福重 亮<sup>1</sup>, 尾崎 友香<sup>2</sup>

<sup>1</sup>広島大院医歯薬保, <sup>2</sup>近畿大薬

これまで、多岐にわたる学問の横断的な理論や技術に加え、先人たちの絶え間ない努力の結晶として、数多くの医薬品が生み出されてきた。しかし、アンメットメディカルニーズという言葉に代表されるように、今なおそのニーズを満たす有効な医薬品の数は十分ではない。さらに、現在行われている創薬研究が新たな医薬品創出に直結していない現状は大きな問題となっている。その中でも、アカデミア発創薬の停滞、すなわち大学等で発見された新規創薬ターゲットなどの基礎研究の成果が、新しい医薬品の創出に結びついていないことがその要因の一つである。そこで、この問題を打開すべく本シンポジウムでは、炎症性疾患、泌尿器系疾患、視神経疾患及び疼痛といった幅広い疾患に対する新たな創薬ストラテジーのビジョンを持ち、これからの創薬研究における活躍が期待される大学院生 4 名に最新の研究成果を紹介していただく。本シンポジウムの議論を通じて、薬理学の根底にある創薬への応用性を見出し、次世代を担う若手研究者による研究成果の有用性を認識することで、新たな創薬ストラテジーへの可能性を探ることを第一の目的とする。さらには、次世代若手研究者達との議論を通して、各々の飛躍のきっかけになることを期待する。